 

脱施設化ガイドライン案への世界のコメント（2022年6月）　No.88

**ピープルファーストカナダ/インクルージョンカナダ・脱施設化タスクフォース**

2022年6月29日

この文書は、障害者権利委員会の「緊急時を含む脱施設化ガイドライン案」への意見募集に応えたものです。

このコメントは、**ピープル・ファースト・カナダ／インクルージョン・カナダ 脱施設化に関する全国タスクフォース**から委員会に提出されたものです。このタスクフォースのビジョンは、知的障害のあるすべての人が、施設ではなく、コミュニティで生活するために必要なサポートを受けられるカナダです。このタスクフォースの使命は、知的障害があるとされた人を特に収容するカナダ国内のすべての施設を閉鎖することです。

タスクフォースは、示されたドラフトを検討しました。以下に我々の意見を述べます。

**全体的な意見**

* これは強力な文書です。私たちは、この文書が非常に包括的であり、多くの領域をカバーしていることを評価します。この文書の中で私たちが強く支持するのは、セクション14（ガイドライン案では15）で説明されている、グループホームを含む施設の定義です。これは、タスクフォースがすでに作成した施設の定義と同じものです。
* 私たちは、施設が特定の名称によってではなく、選択の要素とその運営方法によって定義されていることを高く評価します。これにより、施設が施設の名称をとっていないことを理由に言い訳をする余地がなくなります。
* 私たちは、この文書が、子どもに関する期待を明確にし、特に、子どもは家族と一緒に暮らす必要があると述べていることを評価します。
* この文書が完成すれば、カナダのすべてのレベルの政府に送る素晴らしい文書となり、脱施設化の問題に真剣に取り組むよう促すことができると信じています。
* 私たちは、この文書が法的能力の問題と、住宅に関する個人の選択を行うプロセスとの関連性を取り上げていることを高く評価します。

**改善のための提案**

第 30 項で使用されている「適切な生活水準」という文言を置き換えてください。この表現は、主観的で解釈の余地があるため、問題があります。より具体的な用語を使用すべきです。

* 集計データの分類は必要かもしれませんが、すべての障害者がカテゴリーに当てはまるわけではないです。私たちは研究目的のためにさらに人々にレッテルを貼ることに注意しています。
* 苦情を訴えるプロセスを明示する必要があります。心配なのは、自分の状況を訴える必要がある人が、最初にその施設に自分を入れた団体に訴える以外に選択肢がないことです。他の選択肢を用意する必要があります。
* 私たちは、このガイドラインを前進させ、この文書を世界中の締約国に紹介し、国内政策に取り入れるよう要請するための戦略を開発することを提案します。
* この文書は、施設で生活してきた人々がトラウマを経験してきたこと、および、地域社会に移る際に継続的な支援を必要とする可能性があることを認識すべきです。
* 文書は、知的障害のレッテルを貼られた人々のための資金のポータビリティ（訳注　持ち運べること。ここでは助成金を支給する国・自治体以外の場所で受け取れ、利用できること）の必要性に取り組むべきです。
* 文書には、個人のための自立した計画支援の必要性についての言及が含まれるべきです。計画は施設を出る本人が行うべきで、施設から離れて行われるべきであることを明確に述べる必要があります。
* この文書は、すべての障害者に語りかけ、その必要性の度合いにかかわらず、すべての人を含めるべきです。誰一人取り残されてはいけないのです。

私たちは、このガイドラインが将来を見据えたものであることを評価し、多くの締約国が現在進行中の施設収容のシステムを再考するよう訴えるものと信じます。実際、この文書の精神は、タスクフォースが何年も前から言ってきたことを反映しており、私たちは、このガイドラインの作成とカナダの政策への実装を支持します。



　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　With respect,

Norman McLeod Gordon Fletcher

Co-Chair Co-Chair

Inclusion Canada/ People First of Canada Joint Deinstitutionalization Task Force

敬意を表して、

ノーマン・マクラウド、ゴードン・フレッチャー

共同議長

インクルージョン・カナダ／ピープル・ファースト・カナダ合同脱施設化タスクフォース

（翻訳：佐藤久夫、岡本明）